

平成29年3月 吉日

各位

一般社団法人 J C 総研  
〒162-0826  
東京都新宿区市谷船河原町 11 番地  
飯田橋レインボービル5階  
電話：03-6280-7254

一般社団法人 J C 総研 第 51 回公開研究会 について（ご案内）

拝啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃 当研究所の事業につきまして 格別のご指導・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当総研では協同組合研究誌『にじ』2017年春号にて「協同組合における職員の地位と役割Ⅱ」と「無形文化遺産に登録された”協同組合”」の2つのテーマで特集を企画しております。その前段として協同組合研究者・実践家等との間で幅広く意見交換し議論を深めるため、下記のとおり公開研究会（第51回）を開催することとしました。

多くの皆様のご参加をお待ちしております。

敬具

記

1. 開催日時：平成29年4月1日（土）13:00～
2. 開催場所：飯田橋レインボービル1階A会議室（当総研は当ビル5階）  
〒162-0826 東京都新宿区市谷船河原町 11
3. 報告：無形文化遺産に登録された”協同組合”

(1) 趣旨

2016年11月、ドイツからの提案に基づき「協同組合において共通の利益を形にするという思想と実践」がユネスコの無形文化遺産に登録されました。今回の特集では、ドイツでの協同組合の状況や今回の提案に至った経緯を当事者に報告してもらいつつ、その意味や日本の協同組合が受け止めるべきこと等を検討する予定です。

これまでに分かった提案の背景や状況について、当総研から報告いたします。

(2) 報告者：前田 健喜（当総研協同組合研究部長）

4. 研究：協同組合における職員の地位と役割Ⅱ

(1) 趣旨

当総研では、2015年から研究会を立ち上げ、協同組合の組織・事業・経営において重要な位置にある協同組合職員の地位と役割に関する研究を行っております。

本研究は、2017年度に最終報告を行うこととしております。昨年の『にじ』夏号で

研究の一部について報告を行いました。今回は、その後の研究について報告を行います。

(2) 報告

a 第1報告：協同組合職員を巡る歴史と現状・課題（仮題）

報告者：杉本 貴志 氏（関西大学 教授）

b 第2報告：労協組合員の地位と役割（仮題）

報告者：田嶋 康利 氏（日本労働者協同組合連合会 事務局長）

5. 参集範囲：協同組合の研究者、協同組合・関係団体の役職員等

6. 事務局：中原 tel：03-6280-7289 Eメール：n-nakahara@jc-so-ken.or.jp

以上